

1 題材名 「いいおとをみつけてあそぼう」

2 題材の目標

- ・鍵盤ハーモニカに興味をもって、進んで演奏しようとしている。
(音楽への関心・意欲・態度)
- ・楽曲の気分を感じとって、音の出し方を工夫している。(音楽的な感受や表現の工夫)
- ・旋律を階名で暗唱したり、鍵盤ハーモニカで演奏したりすることができる。(表現の技能)
- ・いろいろな楽器の音色に気をつけて聴くことができる。(鑑賞の能力)

3 題材について

本題材では、鍵盤ハーモニカの奏法に親しみ、簡単な旋律を演奏する活動を進めていく。学習内容としては、楽器の持ち方、構え方から、ド～ソの5音を使った演奏を経験するところまでである。楽器を演奏するときには、常に「きれいな音で」を心がけた表現の工夫が必要である。本題材で学習が始まる鍵盤ハーモニカの演奏は、この後、「みんなであわせよう」の題材の中で、楽器と歌を合わせて演奏したり、他の楽器と合奏したりする活動へと広がっていく。この題材の中で、基本の奏法をしっかりとおさえるようにしたい。本題材では、次のような教材が配置され、単に鍵盤ハーモニカを演奏するだけではなく、「いいおと」を意識し、「あそび」の中で楽しみながら活動を進める。

- ・「どんぐりさんのおうち」「ばすばすはしる」…歌に続けてリズム奏をしながら、鍵盤上の音の位置を覚えたり、音の高低や強弱、速度などによるイメージの違いを感じとったりする。
- ・「みつばちのぼうけん」…既習の曲の旋律を元にした変奏曲を鑑賞して、いろいろな楽器のきれいな音色や表情の変化を味わう。
- ・「おとあそび」…ド～ソの中の3音で構成された簡単なふしを演奏する。お互いの音を聴き合い「いいおと」を意識しながら、リレー奏を楽しむ。
- ・「おちば」…鍵盤ハーモニカの演奏に慣れ、きれいな音の出し方を工夫する。

4 児童について

本学級の児童のほとんどは、音楽が好きで、入学以来、朝の会で歌う校歌や帰りの会で歌う今月の歌、音楽の授業を楽しみにしている様子である。大きな口を開けて明るい表情で楽しく歌う児童が多い。1学期には、打楽器の演奏にも楽しみながら積極的に取り組んでいた。鍵盤ハーモニカは、本題材の中で初めて扱うが、入学前から幼稚園や保育園で演奏の経験がある児童も多く、鍵盤ハーモニカを使った学習を楽しみにしているようである。一方で、音楽に入り込めず歌うときの表情が乏しかったり、鍵盤ハーモニカに初めて触れるので不安を抱いていたりする児童もいる。そのような児童の不安を取り除き、音楽の楽しさを感じてもらうためにも、段階をおって少しずついねいに学習を進め、「できるようになりたい」「わかるようになりたい」という児童の願いや思いに応えたい。歌ったり楽器を演奏したりする活動に「ぼくも、わたしもやってみたい」「もっとやりたい」と意欲と関心をもって楽しく取り組んでいけるような授業を目指したい。

5 指導について


本題材では、鍵盤ハーモニカの演奏に慣れるために、「おとあそび」の活動が取り入れられている。ド～ソの中の3音で簡単な旋律をつくる「ふしづくり」や、そのふしを鍵盤ハーモニカで演奏し、友だちと聴き合ったりつないで演奏したりする「リレー遊び」を設定している。これらの活動にどの児童も楽しみながら無理なく取り組むことができるように、鍵盤ハーモニカで演奏する前段階として、タンギングや指づかいなどの鍵盤ハーモニカの基本の

奏法や、ド～ソの階名について、ていねいにおさえるようにしたい。「ばすばすはしる」の曲でいろいろなクラクションの音作りをしたり、「みつばちのぼうけん」の曲で「いいおと」を探して目標の音にしたりする。また、「どんぐりさんのおうち」の曲や鍵盤の模型を利用して、ド～ソの音の鍵盤上の位置を言葉に表すと同時に、視覚にも訴えて覚えるようにする。本時では、鍵盤ハーモニカで旋律を演奏する前に、階名で歌う活動を十分にとりたい。そして、「ドレミで歌えるようになったから、今度は鍵盤ハーモニカでふいてみたい」という児童の思いをふくらませて、楽器で演奏する活動への意欲を引き出したい。また、友だちと模唱や模奏、リレー唱やリレー奏をして、互いにつながる中で、「いいおと」に関心を持ち、きれいな音を見つけて聴き合ったり演奏に取り入れたりしようとする態度も育てたい。楽しく取り組めるように、言葉がけを工夫したり個人への支援の仕方に配慮したりしながら、活動を進めていきたい。

6 指導計画（10時間配当） 本時5／10

時	学習内容	ねらい	関	感	表	鑑	評価規準
1 ～ 3	鍵盤ハーモニカの奏法に親しみ、歌に続けてリズム奏や音づくりをして楽しむ。	鍵盤ハーモニカの音の出し方を覚えて、音色に親しむ。	◎	○	○		（関・感）鍵盤ハーモニカやその音色に関心を持ち、進んで演奏したり音の出し方を工夫したりしている。
4	「みつばちのぼうけん」の様子を思い浮かべたりいろいろな楽器の音色の違いを感じ取ったりして聴く。	楽器の音色の違いに気をつけて聴くことができる。				◎	（鑑）いろいろな音色の違いを感じて聴くことができる。
5 ～ 6	拍の流れに乗って、ふし遊びをする。	鍵盤ハーモニカを演奏することに慣れる。	○	○	◎		（表）拍の流れに乗って、つくったふしを演奏することができる。
7 ～ 9	「おちば」の曲の感じをつかんで歌ったり、旋律を階名唱したり、鍵盤ハーモニカで演奏したりする。	旋律を階名視唱したり、きれいな音の出し方を工夫して鍵盤ハーモニカで演奏したりすることができる。		○	◎		（感）歌声に関心をもって歌い方を工夫している。 （表）拍の流れに乗って旋律を階名唱したり、きれいな音で演奏したりできる。
10	「おちば」を歌と楽器を合わせて演奏したり、ふしの終わりを入れ替ったりして楽しむ。		○	◎	◎		（感・表）拍の流れに乗って旋律を演奏したり、曲の気分を感じ取って演奏の仕方を工夫したりしている。

7 本時の目標


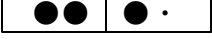
ド～ソの中の3音を使ってふしづくりをし、 のリズムに合わせて階名唱をしたり、鍵盤ハーモニカで演奏したりする。

8 準備物

教師…鍵盤の模型、ふしづくり用の表

児童…鍵盤ハーモニカ、ふしづくり用のワークシート

9 本時の学習過程

学 習 活 動	支援（・）と評価（☆）
<p>○「どんぐりさんのおうち」を歌い、鍵盤ハーモニカでド～ソの音のリズム奏をする。</p> <p>○本時のめあてを知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・鍵盤の模型を使ってド～ソの音の位置を確かめながら演奏する。 ・ドとソの音だけでなく、児童といっしょに考えたレ・ミ・ファの音でも同じように演奏する。
<p>ド～ソのおとで、ふしあそびをしよう。</p>	
<p>○  のリズムに合わせて、ド～ソの音を使って階名唱でふし遊びをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初めは、先生のふしをまねして歌おう。 ・自分でもふしをつくってみたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ音の繰り返しでなく、隣接する3音を使って動きのある旋律をつくるようにする。歌った旋律は、階名をつないだ表を提示して、視覚にも訴えるようにする。 ・ふしづくりの表やワークシートを使って3音のふしをつくり、拍の流れに乗って階名で歌うようにさせる。音程の正確さは求めず、楽しく活動させたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・友だちといっしょにふし遊びをしよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれがつくったふしをグループで模唱したりリレーしたりさせる。 <p>☆進んでふしづくりをし、拍の流れに乗って歌っているか。 (ワークシート、活動の様子の観察)</p>
<p>○  のリズムに合わせて、ド～ソの音を使って鍵盤ハーモニカでふし遊びをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生のふしを鍵盤ハーモニカでふいてみよう。 ・先生のふしで音のリレー遊びをしよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・階名で歌ってから鍵盤ハーモニカで演奏するようにさせる。 ・きれいな音になるよう、音の出し方に気をつけるよう助言する。(タンギングや息の量など)
<p>○学習の振り返りをし、次時の活動を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドレミで音楽をつくって楽しかったよ。 ・次は自分たちのふしを鍵盤ハーモニカでふいてみよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・指の番号を確認し、正しい指づかいで演奏するように声かけする。 <p>☆きれいな音を意識しながら、拍の流れに乗って演奏しているか。 (演奏の聴取)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の学習で楽しかったことやがんばったことを振り返らせ、次にやってみたいことを話し合って期待をもたせる。

10 授業の観点

- ・ふしあそびをしたことは、鍵盤ハーモニカに親しみをもち、もっとやってみたいという児童の意欲を高めるのに有効であったか。